

2022春闘 課題を明確に、人への投資を要求！

— 新年のごあいさつ —



執行委員長 杉原孝一

新年明けましておめでとうございます。

2022年の新春を、さわやかに迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、JAM甲信の諸活動に対して、ひとかたならぬ御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も引き続き宜しくお願い申し上げます。

敢えて申し上げるまでもありませんが、昨年も、COVID-19に世界中が大きく動かされた一年でした。この感染症は、瞬く間に世界中に広がり、未だに、多くの国、地域で猛威を振るっております。移動や経済活動の制限など、世界中で多くの人々がその影響を受けています。皆さんのご家庭や職場においても同様でしょう。JAM甲信内においても、多くの恒例行事の自粛など、3密を回避するためにあらゆる手段を講じながら、新年のスタートを切ることとなりました。ワクチンが普及し、集団免疫効果が表われてきていると思われませんが、引き続き感染防止対策、自衛他衛の実践を継続して参りましょう。換言すれば、時と共に必ず状況は良くなると信じています。その時まで、私たち自身が何をすべきかを確認し、実践して参りましょう。

また、このような厳しい状況においても、製造現場では年末年始を返上で奮闘する多くの仲間がいることを忘れてはなりません。皆さんと共にそういった方々に思いを巡らせ、心から敬意を表すると共に、我々一人ひとりが、自らの業務を通じて支えあう事を、改めて相互に決意したいと思います。

経済動向に目を向けますと、全国の中小製造業においては小幅ながら回復基調にあります。JAM甲信の情勢は2021年9月に実施した第45回景況調査結果によると、回答頂いた67社のうち、2021年4月-9月期の売上増加が52社（2020年同期6社）、今後の生産増が29社（同16社）、直近決算の経営利益が黒字48社（同32社）、労働力に不足がある40社（同14社）と、いずれも回復傾向にあることが分かります。

2022年春闘においては、コロナ禍もあり予断を許さない環境下ではありますが、各単組があるべき水準と賃金体系（カーブ）における課題を明確にし、「底上げ」「底支え」と「産業内及び企業内の格差是正」を目指し、賃金構造維持分を確保した上で、所定内賃金の引上げを中心に「人への投資」を要求して参りましょう。

JAM甲信は第26回参議院議員選挙の比例代表候補予定者として、村田きょうこ氏の推薦を決定致しました。基幹労連出身・JAM代表と位置づけ「働く者の声を届けられる政治」の実現を目指し、必ず村田きょうこ氏を国会へ送れるよう、皆さんにはご支援・ご協力をお願い致します。

組合員の思いが集まればそれだけ大きな力となり、職場課題の解決に向けた大きな一歩となります。私たちもチームとして、職場の皆さんとのコミュニケーションを大切に、日常の世話役活動を通じて、安心・安全で働き甲斐・やり甲斐のある環境を皆さんと共に築いていきたいと思っております。

結びに、皆さんからのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年が、皆さんにとって、明るく希望に満ちた年になりますよう、共に頑張ることを誓いまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



JAM甲信は、2021年11月6日（土）、岡谷市のライフプラザマリオで単組代表者と共済の事務担当者など44単組・支部の91名を集め、JAM甲信・共済推進全体会議を開催した。自家共済・提携共済ともに昨年度の活動報告と2022年度の活動方針が提案され、全会一致で承認がされた。

第1部の全体会議でJAM甲信共済推進委員会の杉原推進委員長は、「共済の取り組みは労働組合の活動における三本柱の一つであり、重要な活動である。まさかの為の備えとして、JAM共済の推進・加入について、単組で一層の取り組みをお願いしたい」と挨拶した。次にJAM共済事業部の高橋グループ長よりJAM共済の現状について説明がされた。

第2部の分科会においてこくみん共済coop提携共済推進委員会では、昨年キャンペーンの表彰を行うと共に、火災・自然災害共済を中心としたキャンペーンと単組役員への個別アプローチを展開して

更なる保障の充実を図って行くことが確認された。また、自家共済推進委員会では、新たな表彰金制度（5000円／単組）を導入し、共済活動の更なる展開を図って行くことが確認された。



昨年度のキャンペーン表彰単組（自家共済分科会）

JAM甲信は、新型コロナウイルス感染防止策として参加人数の上限を30名に設定した上で、2022年度の単組役員研修会 I、IIを、岡谷市のライフプラザマリオにおいて開催した。

第1回目は2021年10月9日（土）に「組合役員的心構えと賃金について」と題して開催し、16単組・



ソーシャルディスタンスで聴講する参加者（第2回研修会より）

支部から31名が参加した。前段の「単組役員の仕事と心構え」では佐野副書記長が講師を務め、労働組合の意義と労働三法、組合活動の3本柱、執行部役員の仕事について説明をし、後段の「賃金について」では櫻井書記長が講師を務め、賃金の定義と意義、平均賃上げ要求と個別賃金要求の違いなど春闘交渉における要求の作り方についても説明があった。

第2回目は「経営分析のすすめ」と題して同年11月13日（土）に開催し、15単組・支部から28名が参加した。櫻井書記長が講師を務め財務諸表の見方を説明した後、ある企業の財務諸表を題材にこの企業はどのような経営状態にあるのか？を参加者それぞれが分析した。個別の分析結果を報告し、全体で認識合わせをした。

参加者からは「財務3表の必要性が分かった。資料を会社から入手して分析してみたい。」「計算方法を学び、実際に実習、分析まで行えたので良かった。」などの感想が寄せられた。

JAM甲信ホームページにも最新情報満載！

<http://www17.plala.or.jp/jamkoushin/>

JAM甲信は、2021年11月13日（土）、岡谷市のライフプラザマリオにおいて、広報担当者を中心に3単組4名を集め、広報セミナーを開催した。

本セミナーは初級編であり、午前中は講師である佐野副書記長から写真の撮り方、文章の書き方とその見出しの作り方、取材の仕方や構成に至るまで



広報紙制作に取り組むセミナー受講者

の、広報紙制作の基本的手法が説明され、基本として「5W1Hを基本に記事を書いてみよう。そのためにまずメモを多く取ろう」とメモを取る重要性を説いた。その後、合同演習として5W1Hに沿った文章の構成を受講者全員で体験した。

午後は、2つのテーマに沿って受講者それぞれに広報紙を作成した。1つ目は、参加者自身が受講した「広報セミナー」、2つ目は別フロアで同時開催していた「単組役員研修会Ⅱ・経営分析のすすめ」とし、実際に取材へ出掛け記事にした。取材では、最初は戸惑う様子も見られたが、講師や参加者へのインタビューと研修会の様子を撮影した。

受講者からは「写真の撮り方から、文書作成、見出しの付け方など、ポイントについて学ぶことができた」「実際に取材をして記事をまとめる演習が出来たので理解が深まった」などの感想が寄せられた。

JAM甲信は、2021年11月20日（土）岡谷市のライフプラザマリオにおいて、11単組13名が参加して、第4回個別賃金研修会を開催した。

講師を務めた櫻井書記長は「春闘における平均賃上げ方式では、その配分について会社任せになっているケースが多い。賃金の見える化により、企業内における従業員の処遇を明確にすることは、企業発展にもつながる。そのためにも個別賃金方式の導入は必要」と説いた。

その後、山梨旭ダイヤモンド労組の横森執行委員長より、2021年春闘で取り組んだ事例発表を頂いた。「一人前社員の離職が多いことが課題であり、また、将来の不安を感じる組合員の声もあって、目指す水準を決め、要求提出・交渉を行なった。結果として要求を上回る回答を導き出すことができた」と経緯を含めて語った。

続いて、佐野副書記長から課題提起として、参加者の所属単組の賃金プロット図（2021年賃金データより）が提示された。

参加者からは「個別賃金方式の考え方、メリットについて、理解できた」「山梨旭ダイヤモンド労組の事例発表が良かった」などの感想が寄せられた。

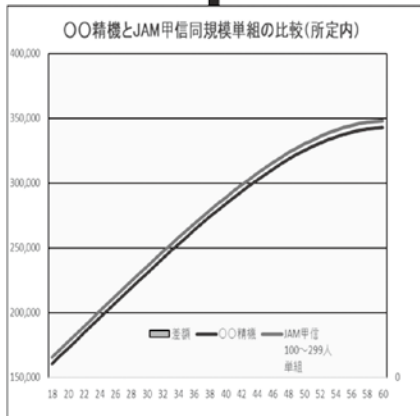


真剣に事例発表を聴く参加者

賃金カーブの是正課題は、個別賃金要求でしか是正できません!自単組のカーブは大丈夫ですか!?

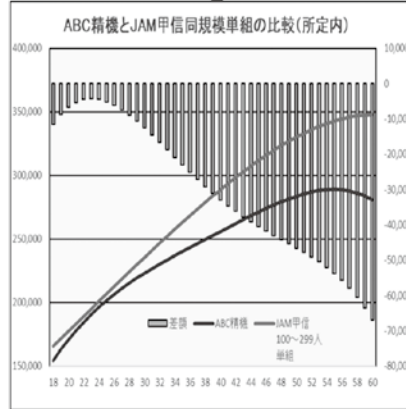
賃金実態の把握

水準・カーブともに問題なく
水準が若干低いのみ



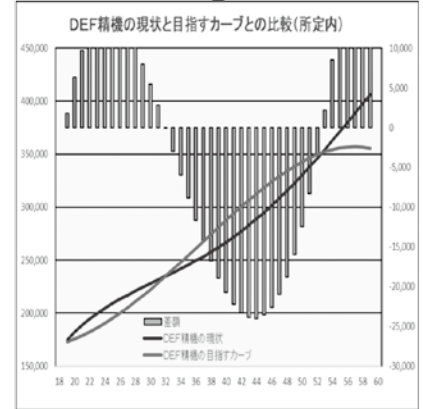
春闘では、構造維持と定額のベースUPのみでOK

水準が低い・目標に対して
年齢毎に是正額が違う



個別賃金の手法を導入し、要求しない限り是正や改善が図れない!

水準に合わせてカーブの
形状にも問題あり



— JAM甲信からのお知らせ —

** 多数の参加をお願いします **

■JAM甲信第23回地方委員会・政策制度討論研修会

- 日時 2022年1月22日(土)
 - 地方委員会 午前9時30分より受付開始 午前10時開会
 - 政策制度討論研修会 午後1時開会～午後2時30分
- 場所 岡谷市「ライフプラザマリオ」 TEL:0266-28-8740
- 内容 <地方委員会>
 - ①2022年春闘方針と具体的な取り組みについて
 <政策制度討論研修会>
 - ①村田きょうこ候補予定者のあいさつ・決意表明(WEB)
 - ②友好議員による国政報告
 - ③JAM甲信・2022年政策実現活動推進計画Vol.3の確認

■2022年度第3回単組役員研修会

- 日時 2022年1月29日(土) 午前9時30分～午後3時30分
- 場所 岡谷市「ライフプラザマリオ」
- 内容
 - ①労使交渉の進め方 講義
 - ②模擬労使交渉 ※アクリルの仕切り板を使ってグループワークを行います
- 要請 構成組合の新三役・執行部より先着30名

両行事共に新型コロナウイルスの感染拡大が進んだ場合は、開催の有無を検討します。